

政策研究会 関連質問



高橋 忠 議員

● 地域振興について
Q 東日本大震災、原発事故による農業、観光などの風評被害と、風評に対する市としての対応について伺います。

A 経済環境部長 農産物関係は、東京電力にJAが共同で補償を求めています。JA山武郡市で1億9千500万円ほど要求していると伺っています。風評に対し放射線測定などで安全な海水浴場ですと周知する努力をしています。

● 職員の意識改革について
Q 人事評価制度が平成20年度から準備、3年が経過しています。制度が定着せずに、その活用方針もこれから検討するとのこと。人材育成のための早急な制度の構築をすべきではありませんか。

● 住民サービスと公共交通のあり方について
Q 10月1日から山武地域で新たな公共交通の実証実験が始まるが、合併前から山武地域で先行実施していた巡回バスサービス、利用者も多く地域交通として歓迎されて支持されている。なぜ休止するのですか。

● 政策研究会 関連質問
Q 成田空港開港以来、現在実証実験運行を開始しています。

● NAAとの共生・共栄について
Q 昨年10月の離発着枠の30万回合意は、新たにあります。位置づけをしてよ

● 土木行政について
Q 木戸川歩道橋について、今なお歩道橋がかかるっていないのは、

● 災害について
Q 災害復旧・復興をこれまで頂いているところに対しても、感謝申し上げたいと思います。行政としてやれる手法は限られています。それぞれの立場で、NAAとの良好な関係をこれからも続け、さらに発展していく努力は必要なことだろ

● 経済対策について
Q 蓮沼出張所を含めた道の駅周辺整備は、必ずや市の発展につながると思うが、いつごろから協議・調査を考えているですか。

● 災害について
Q 災害復旧・復興をこれまで頂いているところに対しても、感謝申し上げたいと思います。行政としてやれる手法は限られています。それぞれの立場で、NAAとの良好な関係をこれからも続け、さらに発展していく努力は必要なことだろ

● 改善調整し、評価制度を活用し、職員の意識改革に反映させたいと思います。

A 市長 幹部が率先してやることは大事だと思う。私を先頭にして、自らの意識改革にも努めたいと思います。

A 総務部長 活性化協議会で、巡回バスの拡大も議論になつたが、経費と持続性のある公共交通の体系を模索する中で、現在の形が選ばれた。

A 市長 大きな地域振興のチャンスだと思います。容量が拡大されるということは、空港に必ずや市の発展につながると思うが、いつごろから協議・調査を考えています。

A 市長 力がなくて大変申し訳ございませんけれども、努力をしまりたいと思います。議会でもお力添えをいたければありがたいと思います。

A 市長 わっていらないのではないのか、もう一度仕切り直しをし、県に地元の要望をしっかりと伝えていただけないでしょうか。

A 教育長 大変有意義なことだと受けとめ